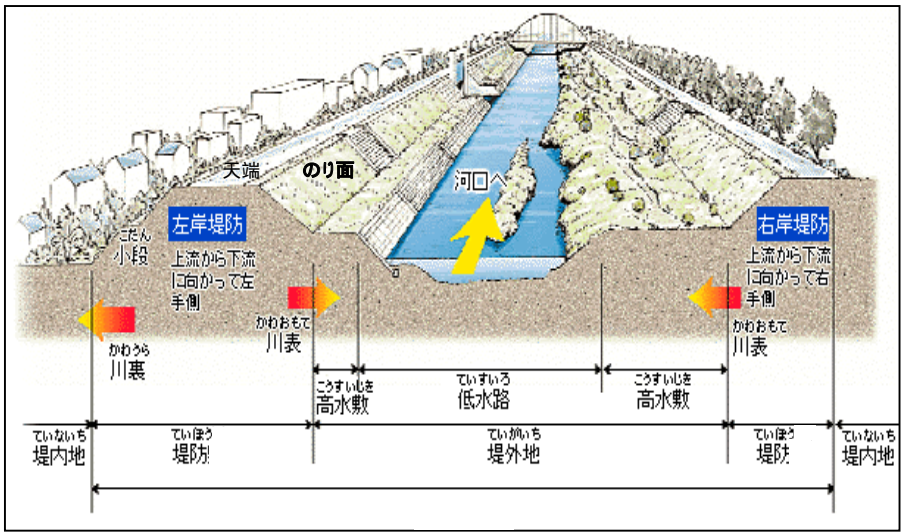


様式 - A

用語	堤防	左岸・右岸	川表・川裏	のり面
よみ	ていぼう	さがん・うがん	かわおもて・かわうら	のりめん
解説	川の水が氾濫しないことを目的としてつくられた構造物。	河川を上流から下流に向かって左側が「左岸」、右側が「右岸」。	堤防の川側が「川表」、住宅や町などがある側が「川裏」。	堤防などの斜面。



用例 (主に活用される場面)	この地区は計画どおりの堤防が作られていないので心配です。	川の左岸が破堤し、被害が生じました。	現在 町 地区の川裏で水防活動を行っています。	堤防ののり面が大雨により崩れました。
関連用語・類似用語				表のり面(おもてのりめん) :川側のり面 裏のり面(うらのりめん) :住宅や町側のり面
注意すべきポイント (防災上の注意すべき点)	構造はほとんどの場合土でできているが、特殊なものとしてコンクリートなどつくられることもある。			